

(17) 多様な自立の在り方に向けての進路支援

社会的自立に至る多様な過程の中から、児童生徒が自分自身に合った進路実現を図れるよう、特別活動を核としたキャリア教育を充実するとともに、ニーズに応じた進路指導を実施し、目標の幅を広げる支援を行います。

キャリア教育と進路指導

中学校卒業後の進路については、多様な選択肢があります。なりたい自分の姿をイメージさせるなど、キャリアパスポート等を活用したキャリア教育が重要です。

また、中学校における進路指導において、多様な進路の中から自分自身にあった進路を選択できるよう適切な情報提供を行い、不登校児童生徒にも必要な進路指導を実施します。

- ・ 選択肢の一つとして、夜間や昼夜に開校し、生徒の生活に合わせて通学時間帯を選べる多部制の定時制高校があります。
- ・ レポートの添削指導や面接指導が中心で自分のペースで学べる通信制高校や、高等学校卒業程度認定試験の受験をサポートする民間の施設もあります。

知っていますか？「岐阜県公立高校一覧」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/293349.html>



アセスメントの観点

不登校児童生徒の支援は、校種を超えて続く場合があります。また進学先において一から支援を検討するのではなく、支援ニーズやこれまでの支援内容などの情報を、児童生徒本人と保護者の意向を尊重しつつ、進路先へ引き継ぐことが重要です。

- ・ 引継ぎの際には、個人情報保護の原則に配慮し、児童生徒本人と保護者の意向を尊重しつつ、どの情報をどう伝えるのかについての確認をすることが重要です。引継ぎには、作成した児童生徒理解・支援シートやキャリアパスポート等が役に立ちます。
- ・ 一方で、進学を機に「新たにやり直したい」と考えている児童生徒もいます。進学の際は、情報の引継ぎを重視しつつ、引き継いだ情報がレッテル貼りではなく、保護者と連携を密に図っていくための引継ぎであることを意識することが重要です。